

# 日本応用藻類学会主催

## 2010年日本応用藻類学会春季シンポジウム

### 講演プログラム

開催日 2010年7月3日(土) 10:00~17:30

会場 東京都港区港南 4-5-7  
東京海洋大学 楽水会館大会議室

#### 日程

##### 講演とパネルディスカッション

テーマ：「日中韓三国における食用海藻の現状と展望」

14:00-

S01 潘 克厚 博士 (Dr. Pan Kehou) 中国海洋大学 教授 科学研究所長  
Ocean University of China

S02 楊 官品 博士 (Dr. YANG Guanpin) 中国海洋大学 教授  
Ocean University of China

Breeding and genetics of *Laminaria* (Chinese story)

(「中国におけるコンブの遺伝育種について」)

S03 馬 家海 博士 (Dr. MA Jiahai) 上海海洋大学 教授  
Shanghai Ocean University, CHINA

The current situation of cultivation and processing of *Porphyra yezoensis* (Nori) in China

(「中国におけるノリ生産と加工の動向」)

S04 嚴 興洪 博士 (Dr. YAN Xing-Hong) 上海海洋大学 教授 藻類応用科学技  
術研究所長

Shanghai Ocean University, CHINA

S05 全 裕珍 博士 (Dr. JEON You-Jin) 国立済州大学校 教授

School of Marine Biomedical Science, Jeju National University , Aqua Green Tech Co. Ltd.

Functional properties of *Ecklonia cava*, a brown seaweed, in Jeju Island of Korea and Its Industrial Application

(「済州島産カジメの機能特性とその産業への応用」)

S06 黄 恩鏡 博士 (Dr. HWANG Eun Kyoung) 国立水産科学院 National Fisheries Research and Development Institute (Korea), Seaweed Research Center

Recent Trends of Seaweed Cultivation in Korea

(「韓国における海藻養殖の最近の動向」)

S07 大房 剛 博士 (Dr. OOHUSA Tuyosi) 元山本海苔研究所所長

「日本での最近の食用海藻の動向と問題点」

総合討論 司会：小川 廣男 (東京海洋大学)

## 口頭研究発表

### 午前の部

- 10:00 A01 海藻アルギン酸を用いる機能性材料の開発  
○垣田浩孝・小比賀秀樹・上嶋洋 (産総研四国センター)
- 10:15 A02 フコイダンのヒト腸内細菌による分解と免疫活性について  
○丸山弘子\*, 川上文貴\*, 蓮沼良一\*\*, 吉永恵子\*\*\*, 仲野隆久\*\*\*, 北里英郎\* (北里大・医療衛生, \*\*昭和学院短期大・ヘルスケア栄養, \*\*\*理研ビタミン(株))
- 10:30 A03 ハプト藻類パブロバ *Pavloba lutheri* 培養系への省エネ光源LED導入の可能性  
岡内正典 (水研セ養殖研究所)
- 10:45 A04 福島県産ハネソソの季節的消長  
須田昌宏 (福島県立いわき翠の杜高等学校)
- 11:00 A05 徳島県太平洋沿岸における10年間の藻場植生の変遷  
○中西達也\*・團昭紀\*・新井章吾\*\* (\*徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究所, \*\*株式会社海藻研究所)
- 11:15 A06 砂泥上に設置されたコンクリートブロック礁における海藻植生の経年変化について  
○村岡大祐\*・坂見知子\*・奥村裕\*・玉置仁\*\* (\*水研セ東北水研, \*\*石巻専修大)

- 11:30 A07 高知県須崎市久通地先におけるウニ類除去とその効果  
 ○田井野清也\*・細木光夫\*\*・早淵利治\*\*\*（\*高知県水産試験場，\*\*(有)エコシステム，\*\*\*久通地区磯焼け対策部会）
- 11:45 A08 かぶせ網を利用した藻場における小型魚介類蝟集状況の把握  
 ○藤原宗弘\*・藤澤真也\*\*・片山貴之\*\*・香川哲\*\*\*（\*香川県水産試験場，\*\*海洋建設株式会社，\*\*\*香川県農政水産部水産課）

## 午後の部

- 13:00 A09 八戸地先における紅藻アカバギンナンソウの生育状況と養殖手法の検討  
 ○山田嘉暢\*・藤川義一\*・林裕一\*\*・桐原慎二\*\*（\*青森水産総研，\*\*岡部（株），\*\*\*青森産技セ）
- 13:15 A10 1遊走子起源の雌雄配偶体の交配によるワカメ品種改良  
 ○加藤慎治・團昭紀（徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究所）
- 13:30 A11 養殖オキナワモズク3株の生長  
 ○須藤裕介\*・山田真之\*・能登谷正浩\*\*（\*沖縄県水産海洋研究センター，\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- 13:45 A12 ツルアラメ葉状部から形成される小藻体の生長  
 ○林裕一\*・能登谷正浩\*\*（\*岡部株式会社，\*\*能登谷応用藻類学研究所）

## ポスター研究発表

12:10-12:50

- P01 海藻工場生産に向けたワカメの陸上培養  
 ○住友寿明・加藤慎治・中西達也・西岡智哉・團昭紀（徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究所）
- P02 沖縄県内5産地から得られた養殖オキナワモズクの形質  
 ○須藤裕介\*・山田真之\*・能登谷正浩\*\*（\*沖縄県水産海洋研究センター，\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P03 クビレスタの直立枝の形態形成におよぼす水温，光強度，流速の影響  
 ○城間一仁\* 能登谷正浩\*\*（\*沖縄県海洋深層水研究所，\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P04 クビレオゴノリ四分孢子体のタンク培養

- 山田真之\*・須藤裕介\*・佐多忠夫\*\*・城間一仁\*\*・能登谷正浩\*\*\*（\*沖縄県企画部水産海洋研究センター，\*\*沖縄県企画部海洋深層水研究所，\*\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P05 高知県大月町におけるウニ除去とヒロメ *Undaria undarioides* を用いた藻場造成実験  
○田中幸記\*・目崎拓真\*・中地シュウ\*・中野松生\*\*・中野正夫\*\*（\*（財）黒潮生物研究所，\*\*橘浦漁業協同組合）
- P06 異なる水深に生育するノコギリモクの形態と年齢の関係  
○神木隆行\*・依田欣文\*・林裕一\*\*・能登谷正浩\*\*\*（\*プラス事業海士町推進協議会，\*\*岡部株式会社，\*\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P07 マルバアマノリの分類形質  
○前田高志\*・鳶田智\*\*・四ツ倉典滋\*・能登谷正浩\*\*\*（\*北海道大学，\*\*お茶の水女子大学，\*\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P08 砂浜域多目的藻場礁の効果  
○林裕一\*・能登谷正浩\*\*（\*岡部株式会社，\*\*能登谷応用藻類学研究所）
- P09 下北半島東通村猿ヶ森地先海域におけるマコンブ藻場造成手法調査—I  
○藤川義一\*・今男人\*\*・坂本信大\*\*\*・桐原慎二\*\*\*\*（\*青森水産総研，\*\*東通村，\*\*\*（株）マック，\*\*\*\*青森産技セ）
- P10 下北半島東通村猿ヶ森地先海域におけるマコンブ藻場造成手法調査—II  
○藤川義一\*・高橋宏和\*・今男人\*\*・住山敏彦\*\*\*・坂本信大\*\*\*\*・桐原慎二\*\*\*\*\*（\*青森水産総研，\*\*（株）マック，\*\*\*野村建設（株），\*\*\*\*東通村，\*\*\*\*\*青森産技セ）
- P11 下北半島奥戸地先における1年目マコンブ孢子体の再生  
桐原慎二（青森産技セ）